

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月15日

事業所名 TURTLE KIDS SENDAI

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			利用児童が増えてきた際には、今より人員数を増やしてほしい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		環境の構造化・絵カード・配置など工夫している。	階段があるため、支援員が荷物を持ったり、支えたりして対応している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・空間の構造化を行っている。 ・通所前に清掃・消毒を行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		・今年度開所したため、前年度分の評価はなし。 ・今年度より実施し、把握と改善に努めていく計画である。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		・今年度開所したため、前年度分の評価はなし。 ・今年度より実施し、結果報告をホームページで公開していく予定。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・第三者による外部評価を行っていない。 ・今後検討していきたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・研修の機会を設けている。 ・参加できない職員には伝達講習を行っている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		家族や活動の情報を元に作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		利用前に家族や本児からアセスメントツールに沿った情報収集を行う。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		達成、一部達成、未達成をしっかりと確認しながら支援内容を設定している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画書を確認しながら、課題に沿った支援を行うように心がける。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員会議でプログラム案を検討している。	週ごとに分担して活動プログラムを立案しているため、情報の共有を図っていきたい。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節の行事やイベントを盛り込み、苦手なことも得意なことも工夫しながら活動を立案している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		環境設定を行ったり、同じ活動内容でも個々に応じた取り組みができるように事前の準備を行っている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティングの時間を設け、活動内容の把握や支援内容、送迎、役割分担を確認し	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了後、打ち合わせをする時間はないが、その都度気づいた点を報告している。	その日のうちの振り返りが難しいため、翌日の朝礼に行うなど工夫していきたい。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		HUGのケア記録に入力している。	支援についてHUGにて共有できる状況にはあるが、周知徹底していきたい。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		職員全体でモニタリングを行っている。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当せず	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当せず	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		利用児童の転居に対しても、相談支援事業所等に対し、情報提供を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			対象者なし。	切れ目のない支援ができるように移行支援シートを活用していきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		児童クラブと交流の機会を設けた。	感染症対策のため、交流会については十分に検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		活動記録への返事や送迎時を活用している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		感染対策上、個別の相談には対応した。	年間計画には組んでいたが、新型コロナウイルス感染拡大につき、保護者に中止をお知らせした。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時、運営規定変更時には保護者にお知らせしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		悩み事や相談がないか定期的に声掛けを行い対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		年間計画には組んでいたが、新型コロナウイルス感染拡大につき、保護者に中止をお知らせした。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談があったときは、保護者と日程調整し対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HUGにて、保護者へ発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		感染症対策のため実施できなかった。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	委員会を設置し、定期開催している。マニュアルは、玄関に掲示に閲覧できるようにしている。	策定はしているが周知が不十分である。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	年間計画を立てて委員会を中心に実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	アセスメントや契約時に確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	契約時アレルギー等の確認を行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	研修に参加している。参加できない職員へ伝達講習を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		

- この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。  
○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)